

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和6年4月～6月期）

《全業種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年4～6月）と比べた 今期（令和6年4～6月）の状況				前期（令和6年1～3月）と比べた 今期（令和6年4～6月）の状況				今期（令和6年4～6月）と比べた 来期（令和6年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	31.0	32.8	36.2	△ 5.2	43.9	28.1	28.1	15.8	27.6	51.7	20.7	6.9
2 採算	12.5	53.6	33.9	△ 21.4	17.9	60.7	21.4	△ 3.6	14.8	61.1	24.1	△ 9.3
3 仕入単価	66.7	28.1	5.3	61.4	54.4	42.1	3.5	50.9	52.6	45.6	1.8	50.9
4 従業員数					12.7	85.5	1.8	10.9	3.6	94.5	1.8	1.8
5 資金繰り					7.4	75.9	16.7	△ 9.3	14.8	63.0	22.2	△ 7.4

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		12.5	55.4	32.1		-19.6		23.2	55.4		19.6	3.6		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	31.5	9.6	6.1	46.3	8 設備店舗の狭小・老朽化	5.6	7.7	10.2	22.2
2 大企業進出による競争激化	1.9	1.9	6.1	9.3	9 取引条件の悪化	0.0	3.8	4.1	7.4
3 製品・商品単価の下落	0.0	1.9	0.0	1.9	10 事業資金の確保難	1.9	5.8	6.1	13.0
4 原材料高及び不足	22.2	26.9	10.2	57.4	11 需要の停滞	11.1	13.5	14.3	37.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	1.9	0.0	1.9	12 円相場に伴う経営への影響	1.9	1.9	12.2	14.8
6 人手不足	5.6	5.8	12.2	22.2	13 その他	5.6	3.8	6.1	14.8
7 人件費の増加	11.1	13.5	6.1	29.6	無回答	1.9	1.9	6.1	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《製造業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年4～6月）と比べた 今期（令和6年4～6月）の状況				前期（令和6年1～3月）と比べた 今期（令和6年4～6月）の状況				今期（令和6年4～6月）と比べた 来期（令和6年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	44.4	33.3	22.2	22.2	55.6	11.1	33.3	22.2	22.2	55.6	22.2	0.0
2 採算	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	25.0	62.5	12.5	12.5	0.0	62.5	37.5	△ 37.5
3 仕入単価	66.7	22.2	11.1	55.6	55.6	33.3	11.1	44.4	33.3	55.6	11.1	22.2
4 従業員数					22.2	77.8	0.0	22.2	11.1	88.9	0.0	11.1
5 資金繰り					11.1	77.8	11.1	0.0	11.1	77.8	11.1	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		11.1	66.7	22.2		△ 11.1		22.2	55.6		22.2	0.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	33.3	0.0	11.1	44.4	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	11.1	22.2	33.3
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	22.2	22.2	22.2	66.7	11 需要の停滞	11.1	11.1	11.1	33.3
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	11.1	0.0	11.1	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	11.1	0.0	11.1
6 人手不足	11.1	0.0	11.1	22.2	13 その他	11.1	11.1	11.1	33.3
7 人件費の増加	11.1	22.2	11.1	44.4	無回答	0.0	0.0	0.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 来期は猛暑により需要減が予想される。（清酒製造業）
- ・ 米、そばが値上がりする見通し。（めん類製造業）
- ・ 物流コスト（メール便や封筒関連）が上がる傾向にあるため、学会誌などの郵送のデジタル化を提案することにより、デジタル商材の受注を伸ばす取り組みをしている。（印刷業）

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年4～6月）と比べた 今期（令和6年4～6月）の状況				前期（令和6年1～3月）と比べた 今期（令和6年4～6月）の状況				今期（令和6年4～6月）と比べた 来期（令和6年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	0.0	37.5	62.5	△ 62.5	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	0.0	75.0	25.0	△ 25.0
2 採算	0.0	75.0	25.0	△ 25.0	0.0	75.0	25.0	△ 25.0	0.0	75.0	25.0	△ 25.0
3 仕入単価	75.0	25.0	0.0	75.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0
4 従業員数					12.5	87.5	0.0	12.5	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資金繰り					0.0	85.7	14.3	△ 14.3	0.0	71.4	28.6	△ 28.6

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		0.0	57.1	42.9		△ 42.9		28.6	71.4		0.0	28.6		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	62.5	0.0	12.5	75.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	0.0	0.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	12.5	0.0	12.5
4 原材料高及び不足	25.0	12.5	0.0	37.5	11 需要の停滞	0.0	12.5	25.0	37.5
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	0.0	12.5	25.0	37.5	13 その他	0.0	12.5	0.0	12.5
7 人件費の増加	0.0	25.0	0.0	25.0	無回答	12.5	12.5	37.5	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 資材の高騰、人件費の値上げにより施工単価及び工事金額が大きくなり、営業段階において予算内におさまらず受注及び利益確保に影響が出ている。（一般土木建築工事業）
- ・ 外注先（大工、左官）のインボイス未対応問題がある。（一般土木建築工事業）
- ・ 建設業業界が全体的に工事減少傾向にあるように感じる。（電気通信工事業）

《卸・小売業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年4～6月）と比べた 今期（令和6年4～6月）の状況				前期（令和6年1～3月）と比べた 今期（令和6年4～6月）の状況				今期（令和6年4～6月）と比べた 来期（令和6年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	11.8	47.1	41.2	△ 29.4	41.2	17.6	41.2	0.0	35.3	29.4	35.3	0.0
2 採算	5.9	52.9	41.2	△ 35.3	11.8	52.9	35.3	△ 23.5	23.5	47.1	29.4	△ 5.9
3 仕入単価	47.1	41.2	11.8	35.3	41.2	52.9	5.9	35.3	52.9	47.1	0.0	52.9
4 従業員数					11.8	82.4	5.9	5.9	5.9	94.1	0.0	5.9
5 資金繰り					11.8	70.6	17.6	△ 5.9	23.5	52.9	23.5	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		11.8	47.1	41.2		-29.4		17.6	64.7		17.6	0.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	23.5	12.5	6.7	41.2	8 設備店舗の狭小・老朽化	11.8	6.3	6.7	23.5
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	6.7	5.9	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	13.3	11.8
3 製品・商品単価の下落	0.0	6.3	0.0	5.9	10 事業資金の確保難	5.9	6.3	20.0	29.4
4 原材料高及び不足	11.8	37.5	6.7	52.9	11 需要の停滞	17.6	12.5	0.0	29.4
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	5.9	0.0	13.3	17.6
6 人手不足	5.9	6.3	6.7	17.6	13 その他	5.9	0.0	6.7	11.8
7 人件費の増加	11.8	12.5	13.3	35.3	無回答	0.0	0.0	0.0	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 全国的に作業服・用品チェーン店が拡販してきている。（その他の織物・衣服・身の回り品小売業）
- ・ コンビニ業界では新しく衣料品の販売、食品の宅配を考えてテスト販売を行っている。（コンビニエンスストア）
- ・ 購読者・チラシ広告の減少。購読料の単価や経費は値上げして来るが、作業経費は値上げしてもらえない。（新聞小売業）
- ・ 最低賃金アップにより人件費が上がってきている。今後は販売価格に転嫁していくことも考えなくてはならない。（ガソリンスタンド）

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年4～6月）と比べた 今期（令和6年4～6月）の状況				前期（令和6年1～3月）と比べた 今期（令和6年4～6月）の状況				今期（令和6年4～6月）と比べた 来期（令和6年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	46.2	30.8	23.1	23.1	30.8	53.8	15.4	15.4	30.8	61.5	7.7	23.1
2 採算	30.8	46.2	23.1	7.7	30.8	61.5	7.7	23.1	23.1	69.2	7.7	15.4
3 仕入単価	61.5	38.5	0.0	61.5	38.5	61.5	0.0	38.5	53.8	46.2	0.0	53.8
4 従業員数	/	/	/	/	7.7	92.3	0.0	7.7	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資金繰り	/	/	/	/	7.7	84.6	7.7	0.0	15.4	69.2	15.4	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		15.4	69.2	15.4		0.0		38.5	46.2		15.4	23.1		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	20.0	22.2	0.0	40.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	11.1	28.6	30.0
2 大企業進出による競争激化	10.0	11.1	28.6	40.0	9 取引条件の悪化	0.0	11.1	0.0	10.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	11.1	0.0	10.0
4 原材料高及び不足	20.0	22.2	0.0	40.0	11 需要の停滞	20.0	0.0	14.3	30.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	14.3	10.0
6 人手不足	10.0	0.0	14.3	20.0	13 その他	10.0	0.0	0.0	10.0
7 人件費の増加	10.0	11.1	0.0	20.0	無回答	0.0	0.0	0.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 世の中のDX化への意識が高まっており、相談案件が増えている。できるだけ取り組みやすい道程を提案。（経営コンサルタント業）
- ・ 宿泊施設が増えて需要が分散してきている。（旅館、ホテル）
- ・ カットやパーマはなかなか自分でできないが、カラーは市販品もたくさんある。ネットで色んな商品が選べるので、物価高騰で支出を減らしたいと考える人で自分でするようにシフトする人もあるのでは。（美容業）
- ・ 薬機法が改定され、美容サロンで扱う薬剤の一部が医薬品となってしまう、消費者に使用する商材の見直しが必要になった。（美容業）

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和5年4～6月）と比べた 今期（令和6年4～6月）の状況				前期（令和6年1～3月）と比べた 今期（令和6年4～6月）の状況				今期（令和6年4～6月）と比べた 来期（令和6年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	54.5	9.1	36.4	18.2	70.0	20.0	10.0	60.0	36.4	54.5	9.1	27.3
2 採算	0.0	60.0	40.0	△ 40.0	20.0	60.0	20.0	0.0	12.5	62.5	25.0	△ 12.5
3 仕入単価	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	70.0	30.0	0.0	70.0
4 従業員数	/	/	/	/	12.5	87.5	0.0	12.5	0.0	87.5	12.5	△ 12.5
5 資金繰り	/	/	/	/	0.0	62.5	37.5	△ 37.5	12.5	50.0	37.5	△ 25.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		20.0	40.0	40.0		-20.0		11.1	44.4		44.4	-33.3		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	30.0	10.0	0.0	40.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	10.0	10.0	0.0	20.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取引条件の悪化	0.0	10.0	0.0	10.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	40.0	30.0	20.0	90.0	11 需要の停滞	0.0	30.0	30.0	60.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	30.0	30.0
6 人手不足	0.0	10.0	10.0	20.0	13 その他	0.0	0.0	10.0	10.0
7 人件費の増加	20.0	0.0	0.0	20.0	無回答	0.0	0.0	0.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 原料価格上昇を販売価格に転嫁しきれていない。（喫茶店）
- ・ 仕入れるものがどんどん上がる。値上げはしたがこれからも不安がある。その中で上げるだけでなく、もっといいお店づくりをして感謝を返し、パワーアップもしていきたい。（一般飲食店）
- ・ お客様の出足は増加しているが、物価上昇の影響。タクシー不足にて不安。（スナック）